

令和7年度

第5回

70th

大玉村合併七十周年記念事業

民俗芸能発表

今回は、浪江町川添芸能保存会のみなさんにも
特別出演いただきます。

玉井二区太鼓台

(玉井二区若連)

玉井二区の太鼓台は、明治28年(1895)日清戦争の戦勝祝いとして二本松若宮の太鼓台を新しくした際、玉井二区の玉応平次郎氏が二本松藩時代からの貴重な太鼓台を譲り受け、同区若連に呼びかけて曳いて来たといわれている。

【村指定無形民俗文化財】



川添の神楽(かわぞえのかぐら)

浪江町川添芸能保存会(浪江町)

旧相馬中村藩には約180の地区に神楽が伝えられ、正月には年始の祓いとして、また地区の祭りには五穀豊穡を祈って行われてきました。川添の神楽は、明治40年頃に修行を積んだ地元の神楽の名人が村人に披露したのが始まりとされ、やはり正月に悪魔祓いや豊年万作の祈願をしながら家ごとに舞い込んできました。

浪江町は、東日本大震災と原発事故により全町民が避難、保存会の活動も一時途絶えましたが、平成27年(2015)に5名の仲間が活動を再開し、県内各地にある町民の避難先となった仮設住宅を巡って神楽を披露するなどの活動を続けました。現在ではその仲間も10数名となり、郷土の民俗芸能を守り続けています。

特別出演



本揃の田植踊

(本揃田植踊り保存会)

古くから本揃地区に伝わる民俗芸能で、稲作の過程を笛や太鼓、唄の囃子にあわせて踊るもので、21種の演目があり、小正月に豊作祈願や厄払いに踊られていた。現在は毎年ふるさとホールにて踊られている。

【村指定無形民俗文化財】



日時

令和8年 2/1日 午後1時から

会場

大玉村農村環境改善センター
多目的ホール

大玉村民俗芸能大会



神原田神社十二神楽

(神原田神社十二神楽保存会)

今から約250年前から伝わる出雲流神楽で、郡山市熱海町高玉から伝来したものとも言われている。現在春と秋の例祭に五穀豊穡を祈願して奉納されている。

【村指定無形民俗文化財】

本揃田植踊り保存会が玉井小学校、神原田十二神楽保存会が大山小学校にて芸能を継承し、それぞれの学校の発表にてその成果を保護者はじめ多くの方に披露しています。

玉井三区太鼓台

(若桜会)

平成9年に同区住民の協力により、太鼓台が作られた。玉井二区の太鼓台とともに秋祭りに太鼓台を運行している。

10月の連休土曜夕方には玉井二区・玉井三区太鼓台が、JA玉井からそろって運行し秋祭りを盛り上げています。



スケジュール

◆13時00分～

開会式

◆13時15分～15時

①玉井三区太鼓台(若桜会)

②【特別出演】

川添の神楽(かわぞえのかぐら)(浪江町川添芸能保存会)

③本揃の田植踊(本揃田植踊り保存会)

④神原田神社十二神楽(神原田神社十二神楽保存会)

⑤玉井二区太鼓台(玉井二区若連)

主	催	大玉村教育委員会・大玉村民俗芸能大会実行委員会
共	催	大玉村・大玉村文化団体連絡協議会
後	援	福島民報社・福島民友新聞社
協	力	NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会
問い合わせ		大玉村教育委員会 生涯学習課 ☎ 0243-48-3139